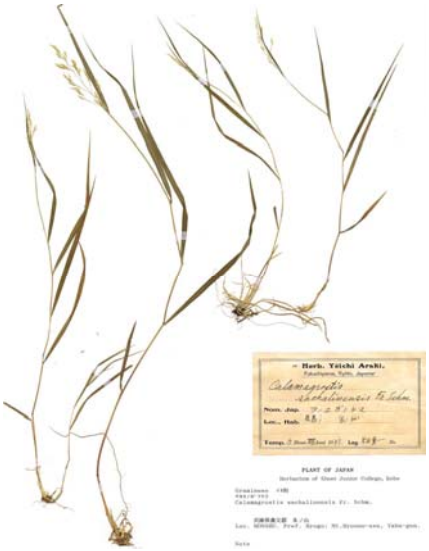
タカネノガリヤス（イネ 科）　　**兵庫県：Aランク**

Calamagrostis sachalinensis Fr. Schm.　　**環境省：－**

種の概要

根茎は短くて、硬く、茎は細く、高さ30-60cmになり、ときに群生する。葉は扁平で、無毛、幅3-6mm、裏面は平滑で、すこし光沢がある。花序は長さ5-10cm、枝はざらつく。小穂は広披針形でとがり、長さ3.5-5.5mmになり、淡緑色でときに一部が紫色を帯びる。苞穎はやや不同長で、平滑、第1穎はときに先が尾状となってすこし外曲する。護穎は小穂よりすこし短く、芒は短くて、小穂から突き出ない。基毛は長さが護穎の半分またはすこし長い。花は8-9月。



標本：頌栄短期大学所蔵

国内分布

本州、四国

県内分布

但馬

選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
						○

特記事項

県内では２ヶ所に知られている。

保護上の留意点

自生地の保全が重要である。